

低リン葉菜類の水耕栽培条件

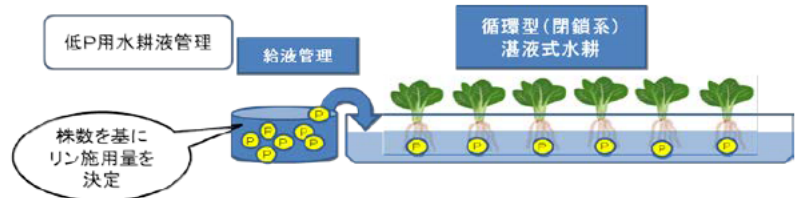
■近年、急増する腎臓病患者の食事療法として、リンやカリウムの含有量を減らした食品が求められています。そこで、水耕栽培によりリン含有量を低減した葉菜類を栽培する技術を開発しました。

※2014年11月18日特許出願
「機能性野菜の栽培方法」
特願 2014-233637

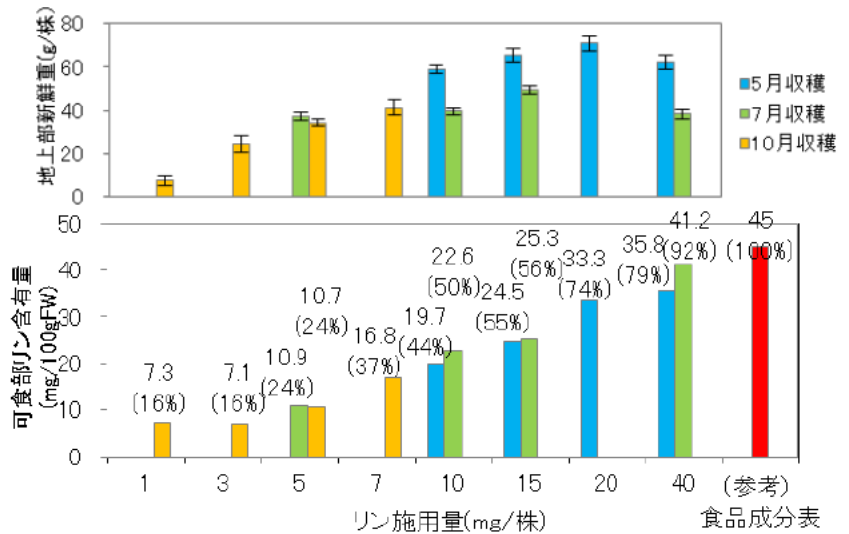
■コマツナ等葉菜類は、循環型（閉鎖系）湛液式水耕栽培装置を用いて培養液を均一に循環させ、リンの施用量を栽培個体数に基づき算出した総量で決定し栽培することにより、可食部リン含有量を低減させることができます。

■コマツナにおいては、1 個体あたりのリン施用量を 5～10 mg とすることで、生育を維持しながら可食部リン含有量を食品成分表記載値比 50% 以上低減することができます。

■ミズナにおいては、1 個体あたりのリン施用量を 5～15 mg とすることで、生育を維持しながら可食部リン含有量を食品成分表記載値比 50% 以上低減することができます。

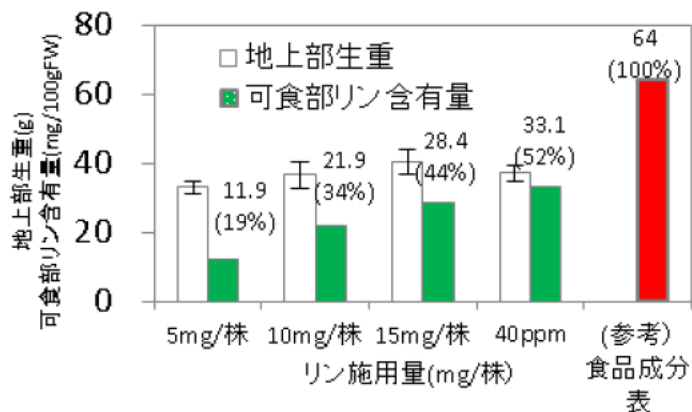


低リン葉菜類の水耕栽培イメージ図



リン施用量がコマツナの地上部生重（上）および可食部リン含有量（下）に及ぼす影響注

注) 可食部リン含有量の (○%) は食品成分表を 100 としたときの値を示す。



リン施用量がミズナの地上部生重および可食部リン含有量に及ぼす影響

注) リン施用量 40ppm は慣行栽培。可食部リン含有量の (○%) は食品成分表を 100 としたときの値を示す。

お問い合わせ先	フード・循環研究課 藤田 絢香	電話 0598-42-6361
参考になる資料	三重農研HP: http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm	